

平成 29 年度
事業報告書

平成 29 年 (2017 年) 4 月 1 日から
平成 30 年 (2018 年) 3 月 31 日まで

一般財団法人
九電みらい財団

平成 29 年度は、前年度の実施状況や評価等を踏まえ、環境活動（環境保全活動と環境教育活動）、次世代育成支援活動および活動の情報発信について充実を図るとともに、新規活動を実施

I 環境活動

1 坊ガツル湿原（大分県竹田市）での環境保全活動および周辺地域での希少植物保護活動

- 坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、湿原の野焼きや外来種駆除、植生保護等の活動を計画
- 各活動とも概ね計画どおりに実施できたものの、一部で悪天候による延期や中止に伴い、参加者は 529 名（前年度比 46 名減）

(1) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 実施にあたっては、当財団と地元の団体・企業等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」を開催し、実施日や役割分担を決定。当日は、九州電力㈱大分支社および地元団体と連携のうえ、活動を実施
- 他地域での野焼きにおける事故事例を踏まえ、必要な備品の充実や登山客への注意喚起等の安全対策を重点的に実施

活 動	内 容	実施日	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼を防止するための防火帯をつくる作業	8/27	87 名
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように、刈った草を集め焼き払う作業	10/9	128 名
本焼き	防火帯の内側に火入れを行い、坊ガツル湿原一帯を焼く作業	3/31	130 名

(2) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）外来種駆除活動

内 容	実施日	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来種植物の除去を行うとともに、実施後、参加者を対象とした自然観察会を実施	予定日、予備日ともに雨天のため中止	

(3) 平治岳（大分県竹田市）ミヤマキリシマ植生保護活動および登山道整備

内 容	実施日	参加者
希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、育成に支障となる樹木（ノリウツギ等）を伐採するとともに、老朽化している登山道を整備	4/3	95名
	11/3	89名

(4) 野焼きリーダー養成研修

- 野焼きリーダーが高齢化している状況を踏まえ、野焼き活動の後継者を育成

内 容	実施日	参加者
野焼き活動の経緯や安全管理に関する座学での講習および刈払機の実技指導を実施	2/18	17名

(5) 新規活動

- ラムサール条約が求める「保全」と「活用」の観点から新規活動を実施

内 容	実施日	参加者
登山者による外来植物の種子持込みを防止するためのマットを登山口に設置	10/2	—
湿原を守るためのルールや周辺のガイドマップ、四季の花々などを掲載したリーフレットを制作し、長者原ビジターセンター等で配布	10/24	—
湿原や当財団の活動の認知度向上を目的としたバスツアーの企画	雨天のため中止	
ミヤマキリシマ植生範囲の拡大に向け、平治岳北部において調査伐採を実施	12/5	—

(6) 活動の評価

- 九州電力グループ内に広く参加を呼びかけた結果、幅広い地域やグループ会社からの参加につながった。ただし、安全管理等の観点から各活動の受入れ可能人数には上限があり、更なる参加規模の拡大は困難な状況
- 新規活動については、地元の関係先（森林管理署や長者原ビジターセンターなど）からの評価も高く、従来の活動と併せ、坊ガツル湿原の環境面での価値向上や、坊ガツル湿原周辺地域での財団事業の認知度向上に寄与
- 活動は環境省等が後援するコンテスト等でも高く評価され、「いきものにぎわい企業活動コンテスト」（会長賞）、「日本自然保護大賞」（入選）を獲得したほか、九州電力の「地球環境大賞」（経済産業大臣賞）受賞にも寄与

2 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動

- 市民の環境保全意識の向上のため、山下池周辺の九州電力社有林「くじゅう九電の森」において、次世代（小中学生）や保護者を対象に、「講話」と「体験」から成る環境教育を実施

【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林のCO2抑制効果・防災機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の観察、間伐、植樹などを体験

(1) 学校向け

- 福岡県、佐賀県、大分県内の教育委員会や校長会等を通じ、各学校や団体に案内した結果、福岡県・大分県の小中学校や子どもクラブから申込みがあり、計20回実施、970名（子ども892名、引率78名）が参加

実施日	対 象	地域	子ども	引率	計
4月18日(火)	福岡市立福岡中学校	福岡	49	7	56
5月11日(木)	福岡市立早良小学校	福岡	28	3	31
5月19日(金)	別府市立緑丘小学校	大分	46	2	48
6月6日(火)	由布市立湯布院小学校①	大分	34	4	38
6月9日(金)	由布市立湯布院小学校②	大分	31	3	34
8月8日(火)	佐伯市立明治小学校	大分	22	3	25
8月23日(水)	西高塾	福岡	27	9	36
8月29日(火)	福岡市立席田小学校	福岡	49	4	53
9月6日(水)	福岡市立日佐小学校①	福岡	35	2	37
9月13日(水)	福岡市立日佐小学校②	福岡	36	3	39
9月15日(金)	福岡市立吉塚小学校	福岡	74	4	78
9月21日(木)	大分市立神崎中学校	大分	31	4	35
10月6日(金)	北九州市立中尾小学校	北九州	65	4	69
10月14日(土)	豊後大野市教育委員会	大分	45	7	52
10月17日(火)	筑紫野市立二日市小学校①	福岡	72	4	76
10月18日(水)	筑紫野市立二日市小学校②	福岡	72	4	76
10月19日(木)	大牟田市立明治小学校	福岡	31	2	33
10月24日(火)	福岡市立愛宕浜小学校①	福岡	41	3	44
10月27日(金)	福岡市立愛宕浜小学校②	福岡	42	2	44
11月7日(火)	大牟田市立白川小学校	福岡	62	4	66
計			892	78	970

(2) 親子向け

- 北九州市、福岡市、大分市の親子を対象とした環境教育を実施。次世代向けの環境教育に加え、保護者とともに楽しむ工作やピザ焼き体験など、親子向けのイベントとして実施
- 小学校へのチラシ配布等により参加者を公募した結果、親子 104 組、310 名が参加

実施日	対 象	子ども	大人	計
5 月 27 日(土)	佐賀市周辺の親子	40	38	78
7 月 23 日(日)	福岡市周辺の親子 (1 回目)	37	42	79
7 月 30 日(日)	大分市周辺の親子	35	38	73
8 月 5 日(日)	福岡市周辺の親子 (2 回目)	悪天候のため中止		
11 月 12 日(日)	北九州市周辺の親子	40	40	80
計		152	158	310

(3) 活動の評価

- 学校向けについて活動回数の増加や運営方法の見直し（2班入替制の導入）により、参加者数が拡大（前年度比 5 回、542 名増）
- 参加者へのアンケート結果では、「自然を大切にしたい」「省エネを心がけたい」等の意見が多く、環境保全意識の向上に効果があったと考えられる。
- また、教育関係者からもプログラムの内容に加え、安全管理や実施体制も含め高い評価を得た。
- 活動は林野庁が後援するコンテストでも高く評価され、「Forest Good 2017 ～間伐・間伐材利用コンクール～」の「間伐実践・環境教育部門」において、「特別賞」を受賞
- 今年度は雨天による中止・延期が多かったため、今後は雨天時のプログラムや設備の充実が必要

Ⅱ 次世代育成支援活動

1 募 集

- 少子化や共働き世帯の増加など、子ども達の育成環境を取り巻く現状や課題の中から、有識者の意見や他財団の活動事例も踏まえ、前年に引き続き「子ども達への支援活動」と「子育て世帯への支援活動」を募集テーマに設定
- 当財団のホームページや九州電力のフェイスブックのほか、九州各県の社会活動推進担当部署等を通じて、社会活動団体支援ネットワークのメールマガジン等により幅広く周知し、募集

2 選考結果

(1) 平成 29 年度

- 九州各地から 103 件（平均で 74 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、20 件（約 14 百万円）の団体に助成。助成にあたり、財団の活動 PR や団体との関係強化に向け、九州電力の各支社で贈呈式を実施
- 団体の活動取材し財団ホームページやフェイスブックで紹介
また、平成 28 年度助成団体を対象に、ホームページ閲覧者による共感できる活動への Web 投票や、応援コメントを受け付ける「みらい応援キャンペーン」を実施し、評価が高い 3 団体に奨励金（各 10 万円）を贈呈

(2) 平成 30 年度（詳細は別紙参照）

- 平成 29 年度と同様のテーマで募集した結果、130 件（平均 76 万円の助成希望）の応募があり、選考委員会で審議のうえ、22 件（約 14 百万円）の助成を決定

3 助成先団体の概要

(1) 助成分野と件数

テーマ	活動分野	助成件数	
		H29 年度	H30 年度
子どもたちへの支援	子どもの貧困対策や居場所づくり、ハンディキャップを抱える子どもの支援	5	6
	郷土教育や演劇・音楽等、様々な体験を通じた次世代育成	9	12
子育て世帯への支援	共働き世代への子育て支援	6	4

(2) 地区別応募・選考状況

	地区	北九州	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	合計
H29 年度	応募	12	16	16	3	11	14	10	21	103
	選考	3	3	2	1	2	4	1	4	20
H30 年度	応募	16	30	19	11	6	16	16	16	130
	選考	3	3	2	2	1	3	4	4	22

4 活動の評価

- 助成先団体からは、団体の活動取材して行う情報発信や、イベント等への協力など、単なる助成にとどまらない点が「他にはない支援でありがたい」と評価されている
- 「みらい応援キャンペーン」は、1,209名がメール登録し、多くの投票や応援コメントが寄せられた。助成先団体からは「活動の励みになった」などの声をいただいたほか、ホームページやフェイスブックの閲覧数増加により、財団の認知度も向上

Ⅲ 活動の情報発信

- ホームページやフェイスブックの更新頻度を上げたほか、多様な媒体での情報発信を実施
 - ・ 九州電力グループ生活情報誌「みらいと」での活動紹介
 - ・ インスタグラム（平成29年11月～）を開始し、活動時の写真等を発信
 - ・ 活動内容を紹介するプロモーション動画を制作し、Youtubeで公開したほか、九州電力本店ロビーにて放映
 - ・ 当財団の活動時の写真等で構成した「九電みらい財団カレンダー2018」を製作し、各種イベントで配布（2,000部）

Ⅳ その他

1 賛助会の設立

- 当財団の事業を九電グループ全体で支援する賛助会を設立。各社に加入の呼びかけを行った結果、30社が入会

2 事業報告の附属明細書

- 平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第64条において準用する第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以上

一般財団法人 九電みらい財団
2018年度 次世代育成支援活動への助成 助成団体一覧

活動分野	団体名	活動名	活動エリア	活動概要	
ハンディキャップを抱える子どもや子どものケア、支援	子どもの居場所づくりや心のケア	きんしゃいきやんぱす	福岡	商店街の一店舗を借り、日常的な遊び場を地域に開放することで、年代を問わず、幅広い子どもたちにとっての居場所づくりを行う。	
		ぼちぼちの会	福岡	不登校生の保護者会として、親子による屋外での集団活動を開催し、親と子の両面から課題を解決することで、不登校状態の解消・改善を図る。	
		はるかぜ手伝い隊	福岡	子ども食堂を運営し、地域ぐるみで多世代交流や学習支援を実施することで、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを行う。	
		NPO法人 心音	鹿児島	沖永良部島は学習塾が少ないことから無料の学習塾を設けるとともに、ひとり親家庭などで悩む親が子育てについて相談できる場を作る。	
	ハンディキャップを抱える子どもの支援	一般社団法人 キャリアサポートクラブ	就労体験を通じて、発達障害等の子どもが社会と関わる力を高めるための活動	北九州	地元企業等と連携した就労体験や講演会での学びによって、発達障害等の子どもたちと社会との関わりを支援する。
		ジョイナス	障がい児と家族のための「クラシックコンサート」開催事業	宮崎	障がいを持つ子どもとその家族をクラシックコンサートに招待し、文化事業に参加するきっかけにするとともに、高校生ボランティアを育成する。
	郷土教育や演劇・音楽等、様々な体験を通じた次世代育成	郷土教育を通じた次世代育成	山鹿もてなしたい	熊本	子どもたちが演劇や授業等を通じて、地域の魅力を発見し、市民や観光客への魅力を発信することで、子どもを中心とした町おこしを図る。
			ひむかかると協会	宮崎	宮崎の郷土かるた「ひむかかると」の競技大会開催を通じて、子どもたちの地域愛を育み、次世代の宮崎を担う人材を養成する。
結シアター手舞			鹿児島	島の方言「島口」や歴史、文化、伝統芸能などの島の魅力を子どもたちに継承するため、島口でのミュージカル「結シアター手舞」の公演を開催。	
様々な体験を通じた次世代育成		NPO法人 サンビレッジ茜	タフな子ども育成塾	北九州	共働き家庭等の低学年児童を対象に、異年齢集団による共同生活を通じ、体力や忍耐力、学力の向上など「タフな子ども」の育成を目指す。
		北九州キャリア教育研究会	キャリア教育「夢授業」	北九州	子どもたちが楽しく熱心に働く社会人と語り合う「夢授業」によって、将来働くことへの意欲や夢を育む。
		トムテのおもちゃ箱	アナログゲームで地域でもっと共遊!	長崎	アナログなおもちゃで遊ぶことを通じて、人と対面して遊ぶ楽しさやルールを守るなどの社会性を学ぶとともに、異年齢交流、多世代交流を図る。
		ステージ中津491	未来を背負う子どもたちへ、夢、未来「第10回職人フェスティバル」	大分	商店街を使って、子どもたちにもものづくりや職業体験をってもらうことで、子どもたちの“生きる力”を養うとともに、商店街の活性化を図る。
		里モンわいわいプロジェクト	みんなおいでよ、里山に! みんなで楽しむ里山時間	熊本	熊本地震の被災地の子どもたちを対象に里山民泊を行い、薪割りや羽釜での炊飯、夕食作りなどを体験することで、生き抜く力を身につける。
		ハロウィンマルシェ実行委員会	子どもが主役のハロウィンマルシェ	熊本	販売体験や職場体験、ワークショップなどを通じて、被災地の子どもたちの主体性や自主性を育む。
		NPO法人 たわわハートねっと	地域の未来につなげる子どもたちの育成事業	宮崎	農業体験やボランティア参加、クリスマスなどのイベントを毎月行うことで、子どもたちを地域ぐるみで育み、ふるさとへの愛着をもってもらう。
NPO法人 かごしま自然学校	次世代の廃校活用モデル「あそびのデパート」	鹿児島	廃校となった小学校を活用し、地域の子どもたちが遊びを通じて生きる力を育むとともに、活動の核となる地域の若手リーダーも養成。		
NPO法人 子育てふれあいグループ自然花	里山のくらしと遊びの体験活動	鹿児島	里山での暮らしや遊びを体験することで、昔からの生活の知恵や遊びを子どもたちへ受け継ぐ。		
共働き世帯等への子育て支援	NPO法人 きやんどるハート	産後の母子をサポートする産後デイサービス事業	佐賀	産後の母親を対象としたデイサービスで、食事の提供やストレスケア等を実施することによって心身をケアする。	
	NPO法人 子どもと文化のネットワーク ぽっぽ・わーど	転勤族あつまれ～! 親子でほっこりわらべ歌タイム	佐賀	転勤族の母親向けに、わらべ歌を通して子どもとゆっくり過ごす場を提供するとともに、地域での生活・子育て情報を提供する。	
	育Men's 倶楽部ながさき	パパのがっこう in ながさき	長崎	父親が子どもと一緒に参加するイベントによって、子どもとの関係づくりのきっかけとするとともに、父親同士の交流を図る。	
	延岡男星保育士団	父親子育て支援「ぱぱ・パーク」	宮崎	男性保育士で構成されたスタッフの専門性を活かしながら、父親目線のイベントを開催することで、父親の育児参加と父親同士の繋がりを促す。	